

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
岸和田丘陵周辺地区(2期)

令和4年5月

大阪府岸和田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	岸和田市	地区名	岸和田丘陵周辺地区(2期)			面積	46.8				
交付期間	平成30年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和3年度～令和4年度	交付対象事業費	311	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		道路/区画道路、公園/区域内公園、下水道/岸和田丘陵地区、地域生活基盤施設/広場等、高質空間形成施設/電線類地中化施設										
	提案事業		地域創造支援事業/下水道、事業活用調査/事業効果分析調査、まちづくり活動推進事業/まち育て支援事業										
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
交付期間の変更		当初	平成30年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	※1 基準年度	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	事業区域内における企業数	社	10 (13)	H29 (H30)	20	R3	18	21	○	あり	インフラ整備について、業務地エリアを先行的に進めたことにより早期に積極的な企業誘致に取り組めたことや、防災上、比較的安全性の高い内陸部へのニーズの高まりも追い風となり、多数企業との契約、操業につながった。 今後、B街区における生活利便関連施設の立地も予定されており、地域全体としての魅力向上が期待される。	
	指標2	事業区域内定住人口	人	200 (0)	H29 (H30)	300	R3	11	366	○	あり	住宅開発事業者による販売・施工の結果、令和4年3月末時点での販売区画149区画中、契約または申し込み区画141区画、土地区画整理法76条の申請済みの件数が118件であり、目標達成に繋がった。	
	指標3	まちの満足度	%	50 (55)	H29 (H30)	65	R3	55～71	76	○	あり	長年のまちづくりが実を結び、まちのインフラや建物の整備が進化したことに伴い、「居住環境や就業環境」、「公園緑地や調整池、歩道の整備等による安全性・快適性」、「道路整備による交通環境」が高く評価された。 一方「地域主体のまちづくり」に関しては地区住民の満足度が低かった。	
	指標4	地域活動の取り組み	回/年	4 (12)	H29 (H30)	12	R3	13	18	○	あり	「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」の下に、専門部会(企業部会、環境部会、農部会、居住者部会)が設置され、まち育て支援事業を通じて、各部会で主体的な活動が展開された。 また、まちづくり協議会、企業、その他団体、行政が地域の環境に配慮した取り組みを行っており、良好なまちなみの形成につながっている。	
	指標5	—									あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1	—											
	その他の数値指標2	—											
	その他の数値指標3	—											
4)定性的な効果発現状況	まちづくり協議会を中心に、企業、その他団体、行政が一体となり地域の環境に配慮した取り組みを行っており、良好なまちなみの形成につながっている。また、自然保全地域において、企業のCSR活動等の取り組みも進められている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	社会資本総合整備計画中間評価		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 継続的に事業効果を確認するため、一定期間人口等についてモニタリングを行う。					
	住民参加プロセス	「ゆめみヶ丘まちづくり協議会」によるまちづくりに関するルール作りなどの協議		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も企業や地域住民が主体となり、自主的にまちを育てていけるまちづくりを推進していく。					
持続的なまちづくり体制の構築	「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」の継続的な活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会の主体的な活動を推進していく。						

様式2-2 地区の概要

岸和田丘陵周辺地区(2期)(大阪府岸和田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

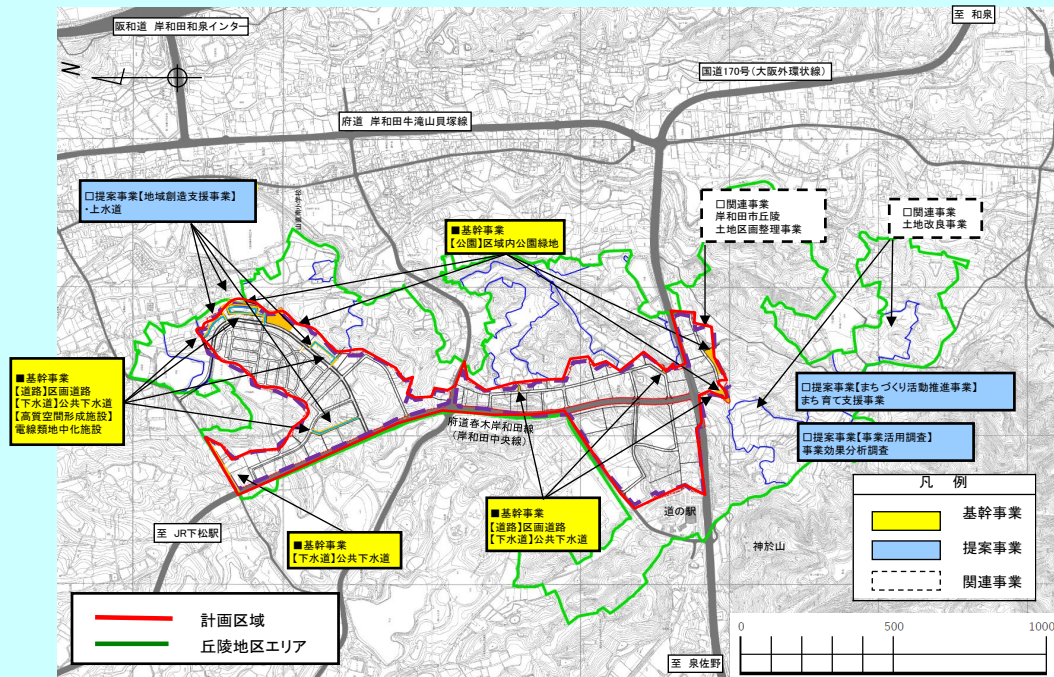
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 地域資源を活かした産業の創出やゆとりある住宅地の形成など、周辺環境と連携した地域拠点の形成を図る。 目標1 土地区画整理事業により整備した業務系用地を活用した新たな産業団地の形成 目標2 良好な周辺環境と調和した住宅地整備による人口定着 目標3 市中央部の地域拠点として整備を図り、当該地区だけでなく周辺地域のアメニティ向上も図り、新しい都市生活を創造する 目標4 地域住民が積極的に地域資源を活用し、自主的にまちを育てていけるまちづくりを目指す	事業区域内における企業数	社	10	H29	20	R3	21	R3
	事業区域内定住人口	人	200	H29	300	R3	366	R3
	まちの満足度	%	50	H29	65	R3	76	R3
	地域活動の取り組み	回/年	4	H29	12	R3	18	R3



入居が進む住宅地エリア



区域内の公園緑地



操業が開始されている地区内の事業所



地域活動の様子

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の進捗により、宅地や道路、公園等の整備が進み、まちの骨格が形成された。企業立地の進展や住宅エリアにおける新規居住者の入居も進んでおり、新しいまちとして地域の活性化が進みつつある。今後は、自然豊かな丘陵地である地区の特徴を生かした魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。 区域内の道路が整備されたことにより、交通利便性が高まり、地区内にある道の駅「愛彩ランド」の利用客が増加するなど、地域全体の活性化につながっている。 一方、交通量が増加しているため、安全・安心な道路環境の整備が課題となっている。 地域が主体となったまちづくりを進めており、地区の自然環境を生かしたイベントの開催等により、地域の活性化につながっている。今後は、新たな居住者や企業の従業者も取り込みながら、まち育て活動を進める必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 総合的なまちの魅力向上に資するよう、基本構想や基本計画に掲げる基本コンセプトに基づき、住宅地、商業地、業務地が一体となったまちづくりを進める。 自然豊かな丘陵地である地区の特性を生かした魅力あるまちとするため、事業者との連携を強化し、地区計画や景観協定などにより、緑豊かで良好な都市環境の形成をめざす。 安心・安全な交通環境を形成するため、交通安全施設等の整備を進める。 エリア全体として、まちの魅力、利便性を向上させるため、生活利便施設の誘致や交通サービスの向上を図る。 地域が主体となつて行う活動への継続的な支援を行うとともに、まちづくりの輪が広がられるよう、新たな居住者や企業の従業者と地域との連携した取り組みを支援する。